

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	チャイルドウィッシュみらい そとわりでん	公表日	令和8年 2月 3日		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	はい	工夫している点	課題や改善すべき点
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	いいえ	子どもの人数に合わせたスペースや学習室も設備しています。	利用者10人以下は資格者(保育士、児童指導員)を2人、11人以上は3人配置しています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	いいえ	小さな段差もバリアフリー化し、保護材を用いて安全面に配慮しています。遊びの中ではその都度声掛けをしています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	いいえ	サービス提供前に環境整備をしたり、提供後には掃除を行っています。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	いいえ	学習室や相談室など子どもの状況に応じて使用できる環境になっています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	いいえ	スタッフ全員でミーティングを行い、日の目標設定や見直しを行っています。月の振り返りでは児発管と面談を行っています。月初、月末と目標設定や振り返りを行っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	いいえ	毎年12月に実施し、本評価の結果を職員全体で共有し改善に努めています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	いいえ	児発管面談や、管理職面談で職員の意見を把握する機会を設けています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	いいえ	現在は実施していません。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	いいえ	チャイルドグループの研修に参加し、知識の習得に努めています。一宮市の療育支援事業、自立支援協議会子ども部会の研修に参加しています。	
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	いいえ	3月にチャイルドグループのホームページやワムネットで公開しています。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	いいえ	状況に応じて子ども面談を行ったり、保護者様とのモニタリングを実施し、ニーズと課題を明確化しています。またケースミーティングを行い計画を作成しています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	いいえ	指導員間でのモニタリングも行い、管理者も含めたミーティングを実践しています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	いいえ	計画書の内容をスタッフ間で共有し、支援に生かしています。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	いいえ	チャイルドグループのアセスメントツール・日々の行動観察を通して適応行動の状況を確認しています。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	いいえ	5領域の内容を含めたガイドラインを作成し、その内容を踏まえた目標設定をし支援の実施を行っています	R6年度の法改正にて支援が細分化され5領域となりました。「移行支援」「地域支援・地域連携」の内容を強化していきます。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	いいえ	毎日の振り返りや朝礼を通してその日の支援内容や活動の内容を話し合っています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	いいえ	スタッフ間で意見を出し合い、固定化しないよう工夫しています。	

供 應	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	子どもの発達段階に合わせた活動を考えています。遊びやみらいプラスを通して個別や集団での活動を考えています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	毎日支援前に朝礼、ミーティングを行い、その日の支援の内容や個々に合わせた支援について話しあっています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	毎日支援後はスタッフ間で振り返る時間を設け気づきを共有しあい支援の質の向上に努めています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	日々個別での支援記録を記入し、次の支援に生かしています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	定期的にモニタリングを実施し、計画の見直しや作成をしています	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	日々の支援やイベントを通して4つの基本活動を取り入れた支援計画、実施しています。	
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	発達段階に合わせて子どもが自分で決めて行動、活動ができるよう工夫した支援を実施しています	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	スタッフ間で事前に情報共有をし、児童発達管理責任者が参加しています	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	必要に応じて情報共有や授業参観等を行い連携する体制を整えています。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	送迎時に学校の先生方と情報共有をしたり、相談員とも定期的に情報共有しています	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	入学後、紙面・口頭にて、情報共有を行い相互理解を図っています。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	体制は整っていますが現在対象者がいません。該当者がいる場合は、保護者様との連携も取りながら対応させていただきます。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	積極的に研修に参加しています。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	6	地域の公園やお買い物体験に行く等の地域の方との交流の機会を設けています。地域のイベントにも参加しています。	交流の場を設けていますが、実施の交流は少ないため今後も状況を見ながら機会を増やしていきます。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	放デイ連絡会や子ども部会等地域の研修に参加しています	
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	送迎時の申し送りや連絡帳、お茶会にて発達段階や課題等について共通理解を図っています。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	毎月お茶会を開催したり、連絡帳やおたよりを通して保護者様と土台型療育のお話や情報共有の場を設けています。	みらいは毎日が参観日なので気軽にお越しいただけるようアナウンスを強化していきます。
機 構 の 運 営	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	契約時に児童発達管理責任者から契約書と口頭にて説明させていただいている。必要に応じて適宜説明させていただいている。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	契約、モニタリング等で、保護者様のご意見やご希望を伺っています。子ども面談を通して意向の確認をしています。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	契約時・モニタリング時に計画の原案を作成し、本案を作成しています。その都度保護者様に説明させていただいている。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	送迎時や、お茶会、面談の機会を設けたり、家庭訪問等も行き提案や助言等を行っています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		毎月お茶会を開催をし、保護者様同士の交流の場を設けています。	きょうだいイベントは3月に実施予定です。今後も交流の機会を設けていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		常時体制を整備し、意見をいただいた際は迅速に対応しています	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月のおたよりやインスタグラムにて活動の様子を共有しています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		書類の記入や言動等、充分に配慮しています	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		子どもやその日の支援の状況に合わせて視覚情報を用いたりしながらコミュニケーションをとっています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		避難訓練等、行事の日程を公表し周知につとめています。	参加者は今のところないため、より周知を強化していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		マニュアルを作成し、職員間で勉強会も行っています。定期的に訓練の実施や見直しをしたよりでも発信しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCP計画を策定し、避難訓練を実施しています。実施した際は避難メールにて保護者様にお知らせしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時に保護者様に確認しています。また薬情や紙面、口頭にて共有を行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		アレルギー表を作成し活用していますが、指示書に基づく対応が必要な子どもの利用はありません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、支援を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		安全計画に基づく、取り組みの内容について送迎時対応、外出時の対応等を実施しています。ご家族へ周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		定期的にヒヤリハットを出し、再発防止や大きな事故に繋がらないよう周知しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止委員会を設置しています。チャイルドグループ内の研修や市の研修にも参加し意識の向上につとめています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		契約時に対応方法を説明していますが、現在対象の児童はいません。	

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 令和8年 2月 3日						
		利用児童数 令和 年 1 2月 1日 26名 回収数 23名(内兄弟 3組)						
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23				・中に入るととても広く、思い切り遊べると感じています。 ・畳敷きになっているのがいいです ・活動ごとに部屋が分かれているので十分なスペースがあると思います	子どもたちが思いきり体を動かすことができるよう規定のスペースを確保しています。活動内容によって個室も活用できるようにしています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23				・しっかり調整されていると思います。	利用人数に対して、基準通りの人員を配置しています。玄関にスタッフ紹介を掲示しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23				子どもはなかなか注意散漫なところがあり、家ではなかなか集中できませんが、当事業所ではとても集中して宿題等をして帰ってきます。わかりやすい環境になっていると思います。 ・シンプルな構成でわかりやすいと思います。	バリアフリーとなっています。またスケジュール等をわかりやすくカードを貼ったりしています。視覚情報にも配慮し、わかりやすい環境設定をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	1			・日の光が温かく入っていて清潔で明るい環境になっており親として安心です ・部屋の空気がこもっているような気がします。定期的に換気はされていますか ・勉強スペース、遊ぶスペースがしっかり確保されており心地よく過ごせていると思います。	支援前に環境整備をしたり、遊具の点検を行っています。また空間除菌等の散布も行っています。近所の方への配慮をしながら、おやつ時、学習時などの定期的に換気を行っています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22			1	・とても感じています。子どもも先生方を信頼しており相談したり私も話を聞いてもらいたい適切な支援をしていただいている。 ・細かいところまでよく見てくださっているなと思います ・子どもたちの様子をよく見ていただき特性に合わせた声かけ、支援をしていただいていると思います	ありがとうございます。今後も子どもたちのその時の状況に合わせて子ども面談を行ったり、スタッフ間で話し合いながらニーズの把握ができるようにしていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23				・合っていると思います。遊びを通して様々な成長を感じています。	ありがとうございます。今後も支援プログラムに合わせた支援の提供を行っていきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23				・計画を作成していただく前にとても丁寧にヒヤリングをしてくださるので親に合った計画になっています。 ・子どもの様子をしっかり見ていただき保護者の考えもしっかり聞いて汲み取っていただいていると感じています。 ・いつも子どもたちに合った支援計画ありがとうございます。	ありがとうございます。今後も保護者様やお子様のニーズによりそいながら計画作成を行っていきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23				・しっかり設定されているおかげで子どもの成長を感じることができます。	ありがとうございます。今後も5領域を踏まえたうえでアセスメントの情報をもとに具体的な支援内容を考えていきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23				・少しずつできなかつたことができるようになってきている姿が多くあるので計画に沿った支援をしてくださっていると思います。	ありがとうございます。日々支援前に行うその日の支援の目標設定を計画に基づいて行っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23				・どうやって考えるのだろう。と感心するくらい楽しそうなプログラムがあり子どもたちも楽しいだうなと思います ・イベントも毎回工夫していただいているなと感じます。	ありがとうございます。日々の活動において土台型療育を軸とし、子どもたちが主体となって発達できるよう考えています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	14	2	1	6	・月に2回程度の利用ですが、地域交流のイベントに参加する機会がありました ・系列の放デイとの交流があるので他での交流は特に求めていません。 ・学校に行っているので必要性を感じていません。 ・わが子は参加できなかった日でしたがおたよりで把握できました。児童クラブの先生とも情報共有をしてくださったりお話ししてくださって連携をして下さってありがとうございました。	ありがとうございます。長期休みや土曜日等は近くの公園やお買い物に行くなどの機会を設けています。同グループ内の交流の機会も作っています。また地域のイベントにもお子様と参加させていただきました。児童クラブとの先生とも必要時は積極的に連携させていただいています。

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23			・変更や改定がある都度、丁寧な説明をしています。・個室でいろいろと話を聞けました	契約時、変更時にご説明させていただいている。今後もご不明な点がありましたらお問い合わせください。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23			・しっかりと説明を受けています。	支援内容等、計画を示しながらご説明させていただいております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	2	2	・仕事柄、なかなか参加はできていないですがおたよりで研修会内容を伝えています。・勉強になる情報をたくさんいただいている。・お茶会が楽しいです・お茶会でやってくれています	ありがとうございます。毎月のお茶会にて、情報提供や意見交流の場を設けています。また同グループ間での同お茶会を実施し相談できる機会を作っています。おたよりでも研修内容や情報を発信しています。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23			・とても思います。共通理解ができるおかげで同じ方向で成長を見守る事ができています。・お迎え時や連絡帳で子どもの様子を伝えてくれています。・送迎の時に毎回その日の出来事を教えていただいている。・帰りに子どもの様子を聞いたり、連絡帳で理解できていると思います。・いつもありがとうございます	ありがとうございます。モニタリングや送迎時、連絡帳にてお子様の様子を共有させていただいている。また学校や家庭での様子も共有させていただいている。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23			・先生方から子どもの気持ちや行動から来る考え方を教えていただき、親子関係を築くのにも助かっています・モニタリングで伺っています・いつも少しの相談でも聞いてくださるので安心できます。	ありがとうございます。モニタリングや送迎時その都度お話をさせていただいている。また保護者様との面談も随時対応させていただいている。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	1		・とても思います。そのため子どもも安心して通所させることができています。・職員の方から、いいところも悪いところも否定せずお話をしてくださいるので不安もいつも和らいでいます。・いつも助かっています	ありがとうございます。今後もお子様や保護者様に寄り添った支援をさせていただきます
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	5	4	・保護者同士の交流はありますが、兄弟に関しては利用日数が少ないこともあります。・兄弟向けの部分でどちらとも言えないにしています。保護者向けの部分は満足です。・お茶会になかなか参加できないですがいつもお茶会だよりは楽しんでいます。・保護者会の機会はたくさん設けられていると感じます。兄弟同士の交流の場はしっかり把握していないかもしれませんがあまりわからずすみません・毎月のお茶会で保護者の方たちと交流でています。・兄弟向けのイベントがあつたら参加してみたいです。・仕事をしている保護者の方も交流ができる機会が少しでもあるうれしいなと思います。	ご意見をいただきありがとうございます。毎月のお茶会や同グループ内の事業所交流お茶会を通して交流の場を設けたよりも発信しております。毎月のお茶会の内容もさらに工夫しながら保護者様同士の交流の機会を増やしていきます。兄弟イベントは3月に予定しております。仕事の都合等で平日のお茶会の参加が難しい保護者様が参加できるよう今後検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	2		・何度も迅速かつ適切に対応していただいており、それが子どもの発達成長に繋がっていると感じています。・いつも迅速な対応ありがとうございます。	ありがとうございます。相談に対してすぐに対応できるようにしています。また内容をスタッフ間に共有したり検討しています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	1		・子どもが私に話しくい事柄など、うまく聞き出してくれ、それを丁寧に伝えています。・毎回直接お話ができるので、子どもの様子も分かりやすいですし、ちょっとしたことでも話せるのがありがたいです。	ありがとうございます。日々の申し送りや、連絡帳、面談を行いこどもや保護者様と意思疎通ができるようにしております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20	1	2	・ホームページやSNS(あまり私自身が使用しません)を確認しないのでわかりません。・SNSいつも楽しんでいます。・毎月プリントで様子がよくわかります・毎月おたよりをいただいている。	ありがとうございます。毎月のおたよりやインスタグラムにて発信しております。評価についてはホームページやワムネットにても掲載しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23			・されていると思います。	書類の記載方法や言動等日頃から職員間で確認しております。お渡しする書類等はカラーファイルに入れて対応しています。

非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22			1	・されています。こちらも変更や改定があると説明していただいている。	契約時にご説明させていただいております。各マニュアルを作成し研修や訓練を行いおたりでも発信しております。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21			2	・子どもも避難訓練を通して防災に対して意識するようになりました。	地震、水害、火災、防犯等の訓練を実施しています。その際は保護者様に一斉メールを送らせていただいています。
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22			1	・されていると感じます。	契約時ご説明させていただいております。今後も安全の確保ができるよう職員で検討、訓練をしていきます。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	1		1	・大きなケガや事故等をすることなく支援していただいている。そのような事が発生した場合は適切な対応をしていただけると信用しています。 ・少しのけがの報告も丁寧に説明していただけています。	ありがとうございます。事故発生時には迅速な対応を心がけ、保護者様にもお子様のその時の様子や支援の状況などご説明させていただいております。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	22	1			・幼い頃は「楽しい！」と通っていましたが思春期になり楽しいより「安心」を求めて通っています。 ・楽しんでいます。 ・先生方のことを信頼し、とても安心して通っていると思います。	ありがとうございます。今後もお子様が安心して通所していただけるよう一人一人に寄り添った安心な環境づくり、関係づくりをしていきます
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	4			・子どもの年齢もあり、楽しみというより心の安心を求めて通所していると感じています。自分の中で解決できない事がるとみらいへ行くという考えが子どもの中にあり大切な場所です。 ・最初のころに比べ「楽しい！」と言う言葉が増えました。 ・気分が乗らないこともありますが、基本的には楽しみにしています。 ・本人が通う日を楽しみにしているよう思えます。 ・「行きたくない」と言いながらも楽しそうに行っています。 ・「みらいの先生！」と言って楽しく通えています。 ・「行きたくない」とは言いますが行くと楽しいみたいです。 ・今はみらいプラスが嫌なようです。	ありがとうございます。子どもの年齢層も幅広く、楽しいことの中にも思うよういかない場面やつまずく場面がお子様の中であるとは思いますが一人一人が楽しく安心して通所していただけるよう今後も支援内容や活動を考えていきます。みらいプラス(小集団、個別の専門支援)はお子様にも意味合いを今後も周知していきながらお子様の状況に合わせて支援を行っていきます。
	29 事業所の支援に満足していますか。	21	2			・大変満足しています。子どものことをよく見ていただいてとても感謝しています。 ・とても満足しています。いつもありがとうございます。 ・連絡帳を読んで支援していただいていると思えます。 ・支援計画もしっかりと立てていただいている。いつもありがとうございます。 ・これからもよろしくお願いします。	ありがとうございます。今後も保護者様やお子様に寄り添った支援をし行いサービスも質の向上を目指していきます。